

公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合
2024 年度事業計画

公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合では、陸上競技を通じて生涯スポーツの普及振興に寄与することを目的とし、各事業に取り組むものとする。

2023 年度は全日本マスターズ選手権を山口市で開催 4 年ぶりに開催することができ、停滞からの脱却の足がかりとなった。依然新型コロナウイルスは完全終息には至っておらず、また近年は温暖化の影響で、屋外での活動を中止しなくてはいけないことも出てきている。対象者に高齢者を含むマスターズ競技会の開催には、なによりもまずは安全であることが第一となる。マスターズ陸上を取り巻く環境は難しい問題が多いが、安全確認を最優先とした上で工夫をしながらの活動を続けていくことになる。

中期的には、会員へマナーアップを啓蒙していくこととする。

元日に発生した能登半島地震の復興にも、マスターズ陸上として支援できることがあれば実施したい。

2024 年度の主な事業は以下の通り

(1) 全国競技会の開催

- ① 全日本マスターズ陸上競技選手権 (9 月 21 日-23 日 京都市)
- ② 全日本マスターズ競歩選手権 (10 月 14 日 岩手・北上市)

(2) 国際競技会への参加

- ① 世界マスターズ陸上競技選手権への派遣
(8 月 13 日～25 日 スウェーデン・イエテボリ)
- ② ワールドマスターズゲームス関西(2027 年 5 月)への参画

(3) 年間記録集の発行

(4) 社会貢献事業

2024 年度専門委員会事業計画

【総務委員会】

総務委員長 岡田 節男

1. 総務委員会の開催
 - ①表彰関係について
 - ②諸規程・規則の見直しについて
 - ③会員登録申請について
2025 年度からの Web 登録準備
2. 諸規定の制定、廃止
内閣府の指摘を踏まえ、定款・会員規程・役員の選出規程・加盟団体規程・社員総会運営規定・理事会運営細則・その他の見直し
3. 表彰対象者の人選（表彰委員会の開催）
 - ①各種表彰
 - ②スポーツグランプリ推薦者の選定
 - ③秩父宮章推薦者の選定
4. 連合三役と地域（ブロック）連盟役員との意見交換会の開催
連合と地域役員のコミュニケーションを深めるため開催する。
・2024 年度北陸ブロック
5. 国際会議対応

【財務委員会】

財務委員長 今井 守雄

1. 事務局運営に係る財政基盤確立に向けて 2025 年度から個人年会費を 300 円増額し、1800 円に改定する。

【競技運営委員会】

競技運営委員長 伊藤 誠一

日本陸連競技規則等の修改正を参考に、マスターズの競技規則・競技運営細則などの確認。

1. 競技規則の見直し検討
WMA 競技規則の反映
2. 競技運営方法の充実
安全第一、マナー啓蒙
3. 記録申請の正確さと充実
催促しても提出がされないケースがあり、早期提出を促す。
4. 国際競技会参加者対応
5. 競技運営委員会の組織運営について検討

【普及広報委員会】

普及広報委員長 藤林 真美

1. 連合ホームページの有効活用

<新規会員獲得> マスターズ陸上の認知度向上

<会員向け> ・競技会・練習会情報・トレーニング・食事方法など各種情報を紹介。会員の満足度を向上させる

2. 会員のマナー対策

<目的> 競技会における選手のマナー改善・向上を目指す

<内容> マナーアップをテーマとしたポスターを公募し、選定（表彰を行えるとよい）。全国の競技場などに貼付、会員が主体的にマナーを遵守し、気持ち良く競技会を行える仕組みをつくる

【国際科学委員会】

当分の間、総務委員会、競技運営委員会、普及委員会で業務を分担することとする。